



知識工学部
情報科学科
3年・現部長
宮本稔久君

知識工学部
情報通信工学科
3年・部員
大野陽平君

部内のスムーズな連携が
復旧速度を加速させる

自慢の組織力で 困難を乗り越える

放送会

倉庫は浸水するも 高価な電子機器は運よく無事に

大学で開催される年間行事を始め、世田谷キャンパスのある地元、尾山台商店街主催のイベントなど、学内外で開催されるイベントの音響設備を担当している放送会。中でも大きな仕事が世田谷祭での音響担当ですが、今年は台風の影響で世田谷祭そのものが中止となりました。台風の影響で1号館



番組発表会にてパソコンを使って映像を操作中。



尾山台商店街のイベントでのアナウンス。生放送はやっぱり緊張します。

地下にあった倉庫が水没してしまい、世田谷祭で使うはずだったテントや木材、パーテーション、さらには過去のイベントの模様を収めたビデオテープも浸水してしまいましたが、14号館3階の放送会室に保管しておいたマイクやスピーカー、ミキサーやアンプなどの電子機器類は、幸い浸水を免れました」(宮本君)。

甚大な被害を受けたクラブが多数ある中で、想像よりも少ない被害で済んだことは、不幸中の幸いでした。「被災後、メンバー全員は冷静、かつ迅速な判断のもとに行動してくれました。そのおかげで、大きな被害がなかっただけでなく、活動を早期に復旧させることができました。部員たちの団結力と行動力に、改めて頼もしさを感じました」(大野君)。

「クラブ活動紹介」の取材を終えて

取材にご協力いただいたアメリカンフットボール部、硬式野球部、ラグビー部などが使用する河川敷のグラウンド、並びに鉄道研究部、グリーンクラブ、放送会などの倉庫がある1号館の地下や図書館(9号館)の地下など、本学は台風による浸水で甚大な被害を被りました。物理的な被害に加え、学生たちに大きな心的ストレスがあったことは想像に難くありません。

しかし今回の取材から、災害の苦難に対し冷静に対処行動する頼もしい一面が垣間見えたのも事実です。クラブ活動を通して、日々成長する学生たちに、ぜひ暖かいエールをお送りください。

